「桂結」について

京都大学



2025年3月版

「桂結」(かつらゆい)について

「桂結」は、令和2年4月に発足した、京都大学の設備サポート 拠点です。

協議会をトップに各系の機器室がぶらさがり、それらが保有する 設備をネットワークシステム「KUMaCo」で結びつけて共同利用を 行う体制を目指しています。

なお、現在桂地区には工学研究科しかないことから、「桂結」は 工学研究科のみが母体となっています。工学研究科の専攻は、 宇治地区や吉田地区にもありますが、これらの機器室はそれぞれの 地区の拠点ではなく、「桂結」に参画しています。

KYOTO UNIVERSITY 2

設備サポート拠点等体制図

設備整備・共用促進委員会

【主な役割】



北部キャンパス機器分析拠点 【理学、農学、生命】

- 設備サポート拠点の審査・選定
- 設備サポート拠点への支援策の検討 (オペレータの配置やサポート体制の強化など)
- 設備サポート拠点の取組のフォローアップ (稼働率や収支状況など)



本部構内設備サポート拠点 (MaCBES)

【高等研究院、ナノハブ】



《H31.2~》

医学·生命科学研究支援機構(iSAL) 【医学、生命、薬学、ウイ・再研】

IIII and and it

《R1.10~》

《R2.7∼》

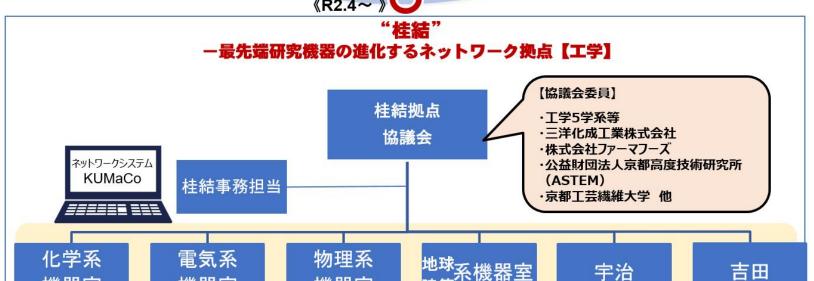


機器室

宇治地区設備サポート拠点 【化研、生存研、工补研、防災研】



機器室



機器室